

県職員等による地域活動の支援（長門地域）

《油谷後畑地区》

1 実施主体

NPO法人ゆや棚田景観保存会

2 県職員支援チーム

長門農林事務所、県民局各職員 計5人（市職員2人、県立大学生1人も支援参加）

3 支援活動の概要

(1) 自然栽培米の実証実験支援

① 実施日

平成25年6～9月

② 場所

後畑地域

市の「成長戦略事業」の第1弾として、H25.6、
無肥料、無農薬栽培による
県内初のコメ作り実証実験が
当地区棚田で始まり応援しました。



(2) 宇津賀地域ふるさとまつりでの棚田カフェ出店、棚田米展示の支援（県立大支援）

① 実施日

平成25年11月24日（日）

② 場所

旧文洋小学校



ここは、棚田100選にも選ばれている
西日本最大級の棚田地帯です。
地元NPOが景観保存活動に取り組んでいます。
これまでも草刈り等の支援をしてきました。
今後は、見物客やカメラマンもやってくるので、
カフェやショップも欲しいところです。



県立大学生により美味しい棚田米の
パッケージが考案されました。
♡の形は、
棚田米「ひとめぼれ」が「きぬむすめ」に
恋するというストーリーとのこと。

棚田米及びパッケージの展示



棚田米の販売

モ～似合ってるでしょ！
お互いモデルがいいモン・・・



市職員も農ファッションで協力

カフェコーナーでは
地元スタッフも農ファッションを着用